

## 調 査 概 要

調 査 期 間 : 平成29年9月21日～9月27日  
 調 査 方 法 : 調査対象者に質問を配付し、記入後回収した。  
 調 査 対 象 : 本学在学学生  
 調 査 内 容 : 1. 個人生活について 2. 学内生活について  
 3. 課外活動について 4. 本学全般について  
 有効回答者数 : 1,650名

回答者内訳

●性別（設問1）

	男子学生	女子学生
人数 (%)	799名 (48.4%)	851名 (51.6%)

●所属学科（設問2）

	大学院		
研究科・学科	人間福祉学研究科	生涯学習学研究科	生涯スポーツ学研究科
人数 (%)	8名 (0.5%)	3名 (0.2%)	20名 (1.2%)

	人間福祉学部		生涯学習システム学部	
学科	地域福祉学科	福祉心理学科	芸術メディア学科	学習コーチング学科
人数 (%)	2名 (0.1%)	2名 (0.1%)	6名 (0.4%)	2名 (0.1%)

	生涯スポーツ学部	
学科	スポーツ教育学科	健康福祉学科
人数 (%)	594名 (36.0%)	113名 (6.8%)

	教育文化学部		
学科	教育学科	芸術学科	心理カウンセリング学科
人数 (%)	425名 (25.8%)	74名 (4.5%)	130名 (7.9%)

	短期大学部	
学科	ライフデザイン学科	こども学科
人数 (%)	43名 (2.6%)	228名 (13.8%)

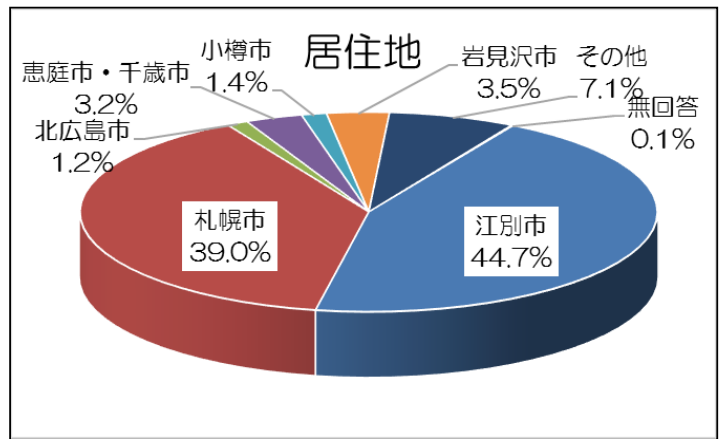
●学年（設問3）

	1年生	2年生	3年生	長期履修3年生
人数 (%)	549名 (33.3%)	495名 (30.0%)	325名 (19.7%)	17名 (1.0%)

	4年生	長期履修4年生
人数 (%)	257名 (15.6%)	7名 (0.4%)

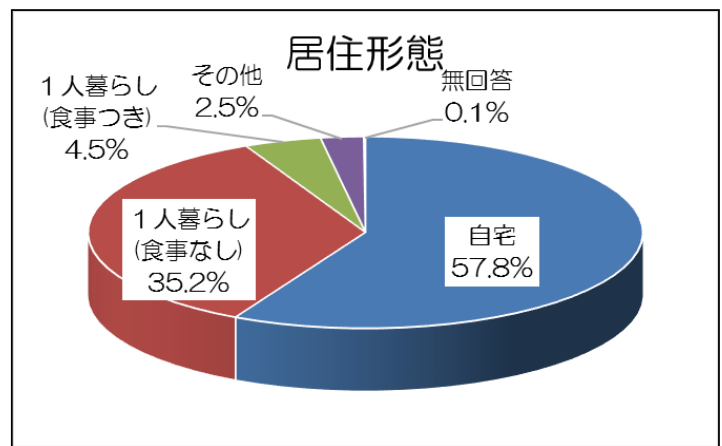
#### 居住地について(設問4)

調査時点での居住地については、「江別市」が最も多く44.7%であった。次いで「札幌市」39.0%となっている。



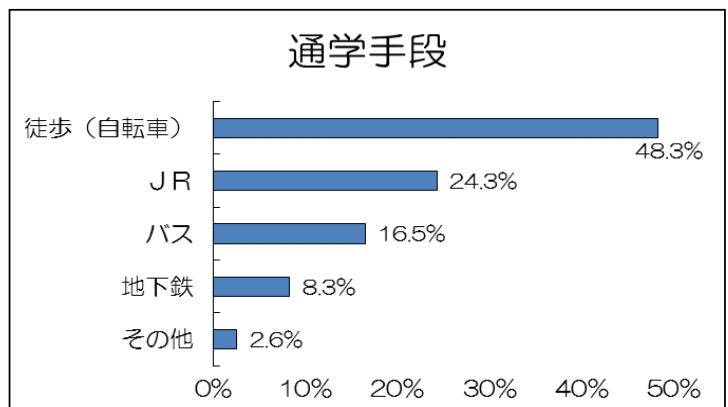
#### 居住形態について(設問5)

居住形態については「自宅」が57.8%と半数を占めた。自宅外では「一人暮らし(食事なし)」が35.2%であった。



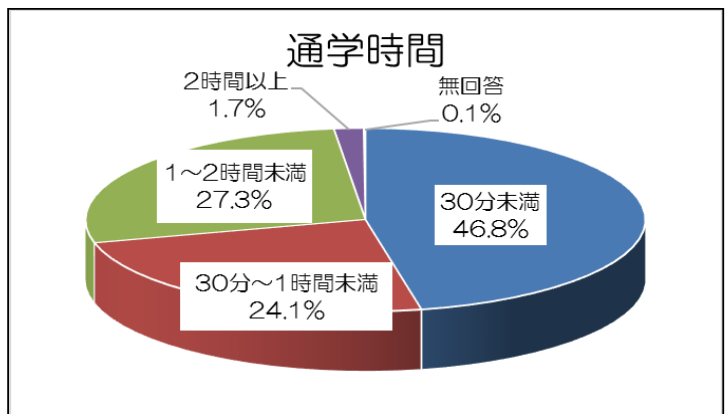
#### 通学手段について(設問6)

通学手段は「徒歩(自転車)」が48.3%で最も多かった。公共交通機関では「JR」24.3%「バス」16.5%となっている。



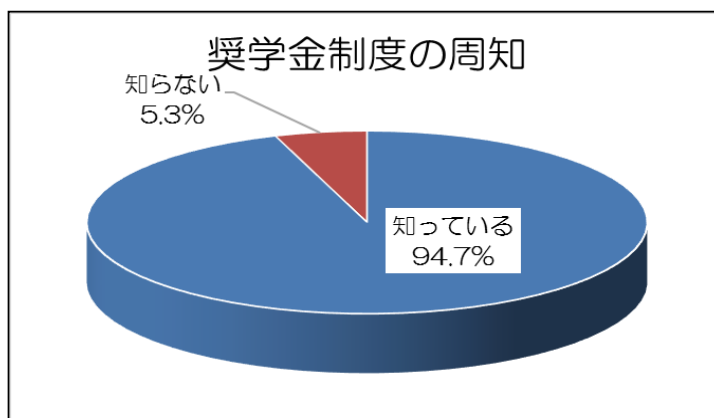
#### 通学時間について(設問7)

通学にかかる時間は「30分未満」が46.8%であった。次いで「1~2時間未満」27.3%「30分~1時間未満」が24.1%となっている。



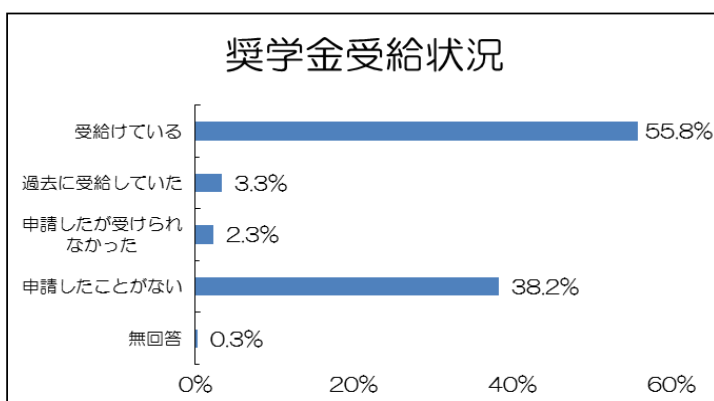
### 奨学金制度の周知について(設問8)

学内及び学外の奨学金制度については、94.7%の学生が「知っている」と回答があり、周知はされていることがわかった。



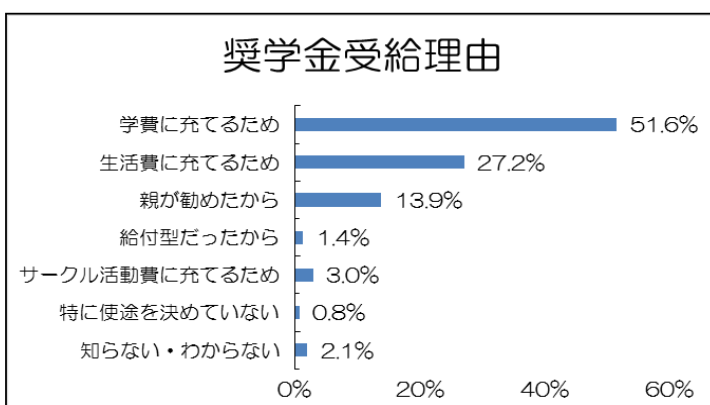
### 奨学金受給状態について(設問9)

調査時点で何らかの奨学金を受給している学生は55.8%で、全学生数の半数を超えていた。



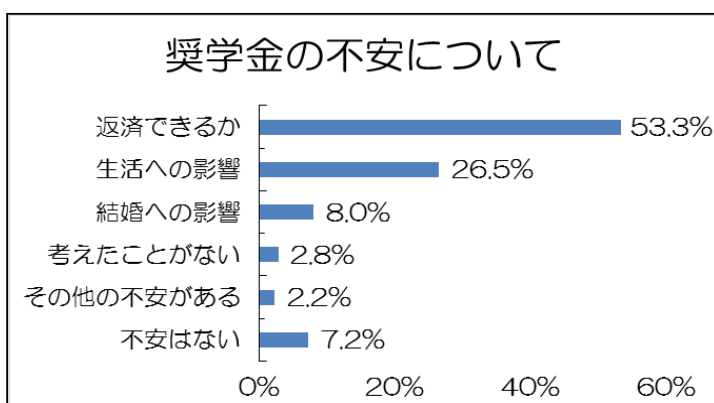
### 奨学金受給理由について(設問10)

奨学金の受給理由は「学費に充てるため」が51.6%で半数以上となった。「生活費に充てるため」27.2%「親が勧めたから」13.9%となった。



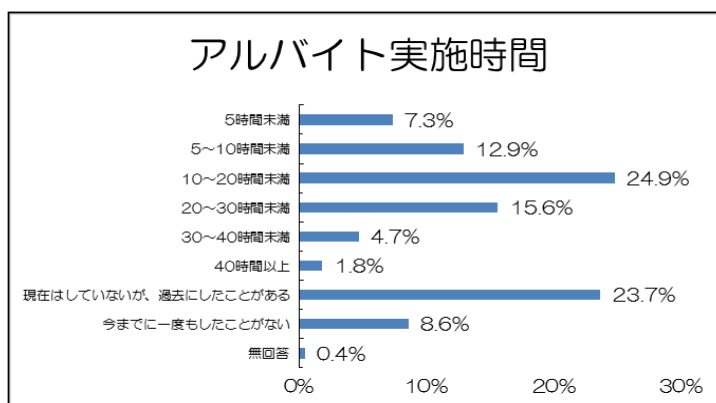
### 奨学金の不安について(設問11)

奨学金に対する不安では「返済できるか」が53.3%で半数以上となり次いで「生活への影響」が26.5%であった。



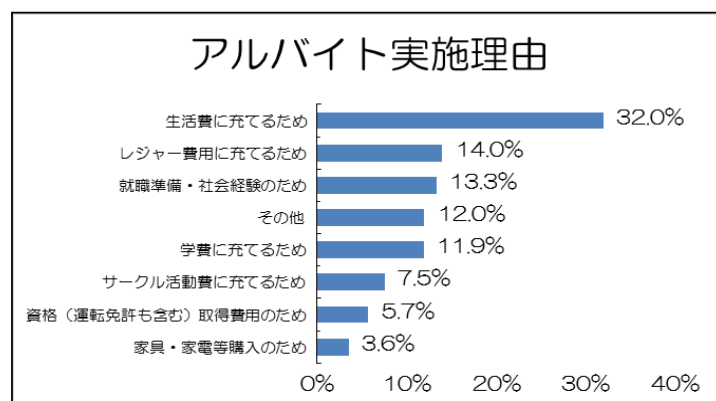
### アルバイト実施時間(設問12)

アルバイト実施時間は「10～20時間未満」が24.9%で最も多かった。また、調査時点で全体の67.2%がアルバイトをしていると回答している。



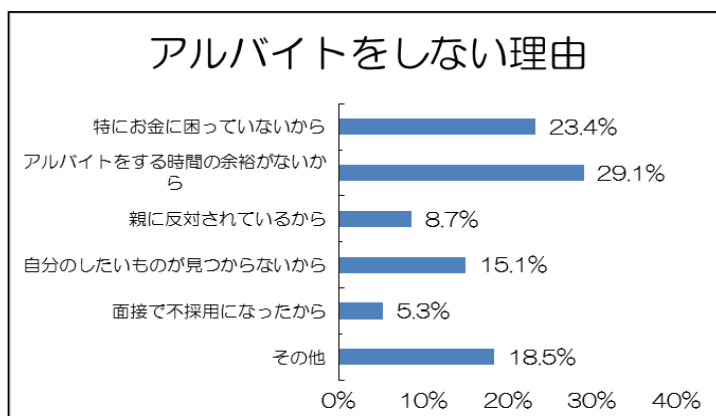
### アルバイト実施理由(複数回答)(設問13)

アルバイト実施理由では「生活に充てるため」が32.0%で最も多く次いで「レジャー費用に充てるため」14.0%「就職準備・社会経験のため」13.3%という結果であった。



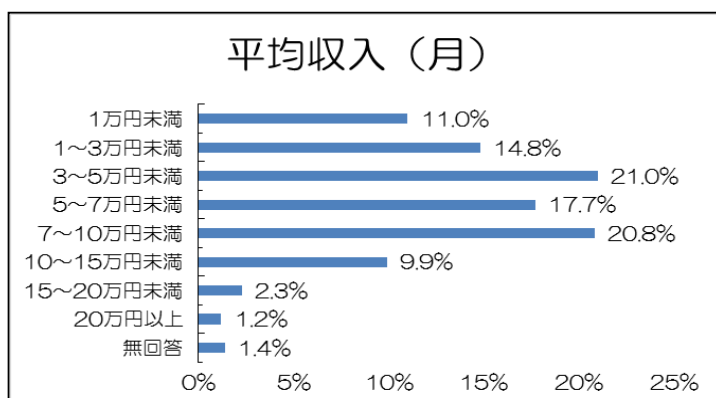
### アルバイトをしない理由(複数回答)(設問14)

アルバイトの経験がないと回答した学生の理由では「アルバイトをする時間の余裕がないから」が最も多く29.1%で、次いで「お金に困っていないから」が23.4%であった。



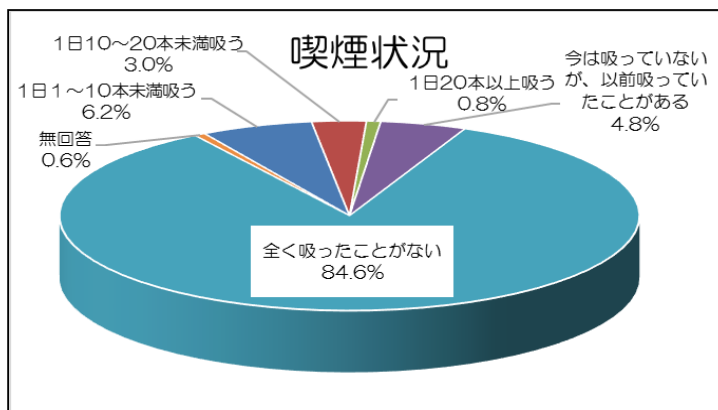
### 平均収入について(設問15)

仕送り金、奨学金、アルバイト等から得る1か月の平均収入は、「3～5万円未満」が21.0%で次いで「7～10万円未満」という結果となった。



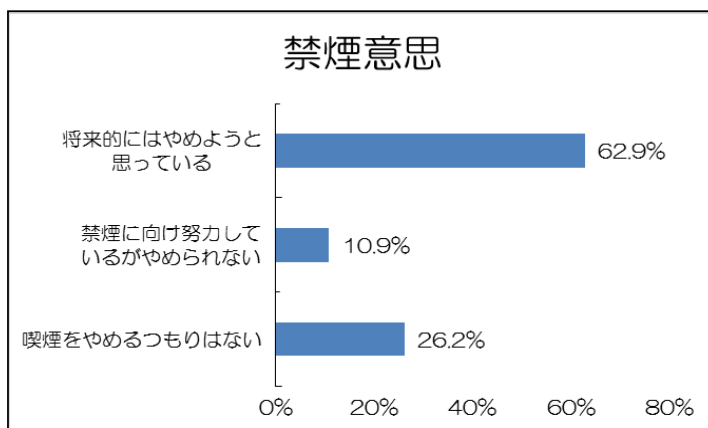
### 喫煙状況について(設問16)

喫煙状況については、現在喫煙している学生は10.0%程度であった。



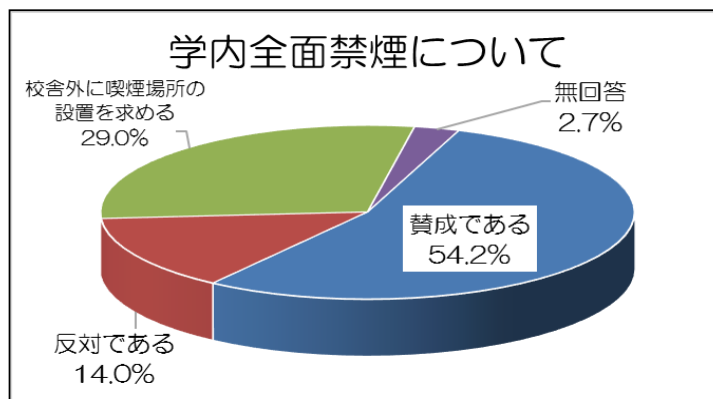
### 禁煙意思について(設問17)

喫煙している学生の禁煙の意志については、「将来的にはやめようと思っている」62.9%で、禁煙意思が強い結果となった。



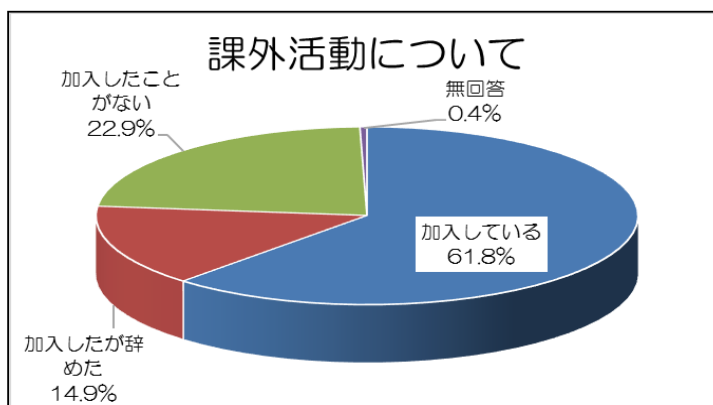
### 学内全面禁煙について(設問18)

学内全面禁煙については「賛成である」が54.2%で半数以上となり次いで「校舎外に喫煙場所の設置を求める」29.0%で「反対である」は14.0%であった。



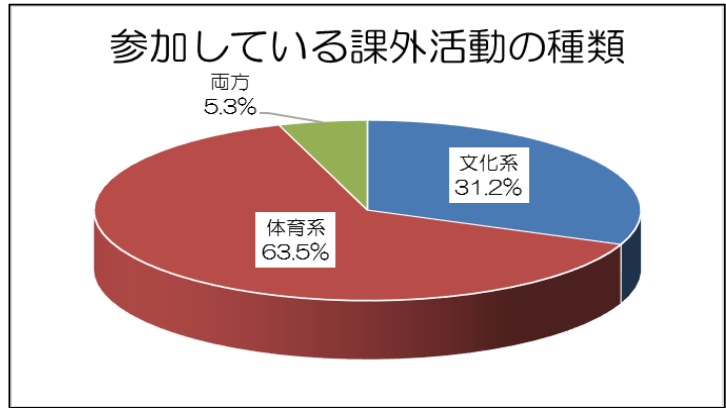
### 課外活動について(設問19)

調査時点でサークル等の課外活動へ参加している学生は61.8%で、全学生の6割を超える割合であった。



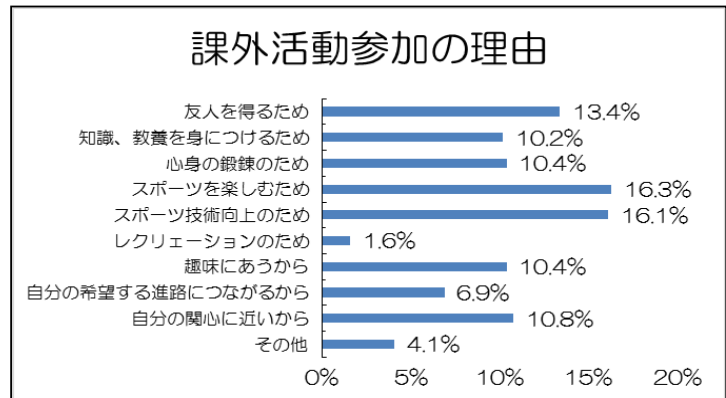
参加している課外活動の種類(設問20)

参加している課外活動が「体育系」である学生は63.5%「文化系」は31.2%であった。



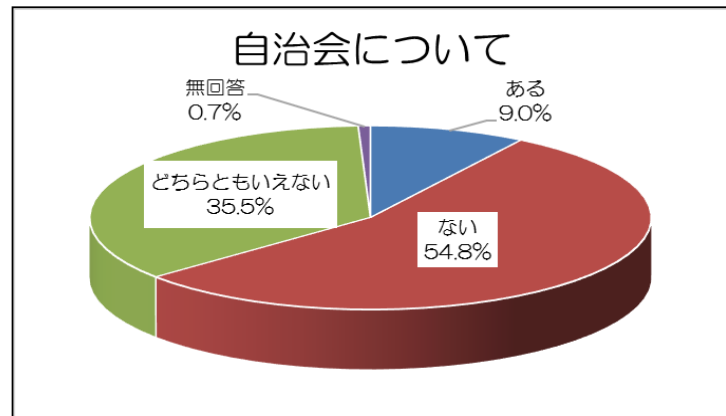
課外活動の参加理由について(複数選択)(設問21)

学生が課外活動に参加する動機として「スポーツを楽しむため」「スポーツ技術向上のため」が合わせて32.4%と高い結果となった。



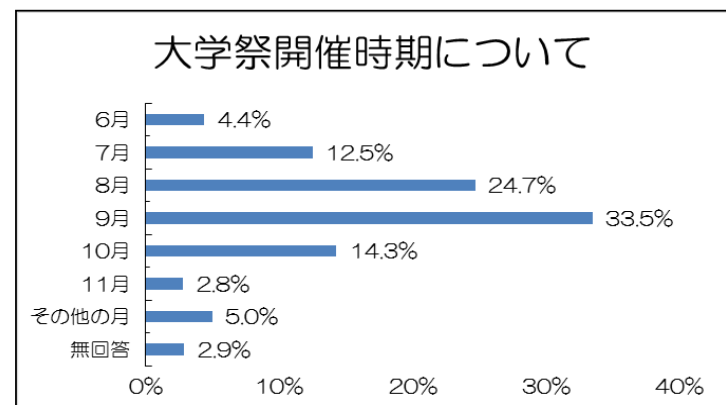
自治会について(設問22)

自治会への興味・関心については「ない」が54.8%という回答をしている。「ある」は9.0%で自治会への関心が薄い結果となった。



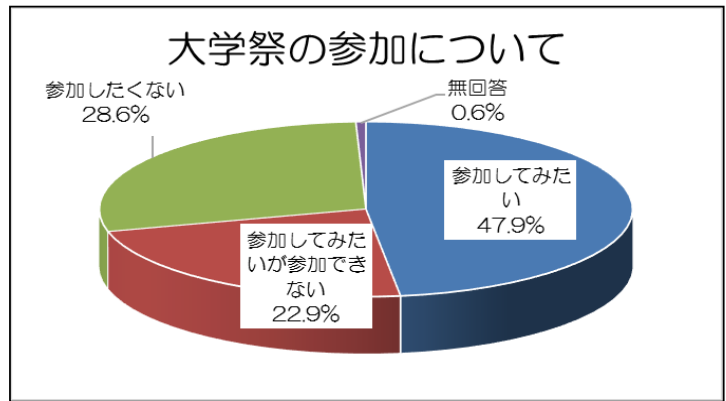
大学祭の開催時期について(設問23)

大学祭の開催時期の希望については「9月」が33.5%と最も高く、「8月」24.7%「10月」14.3%となった。



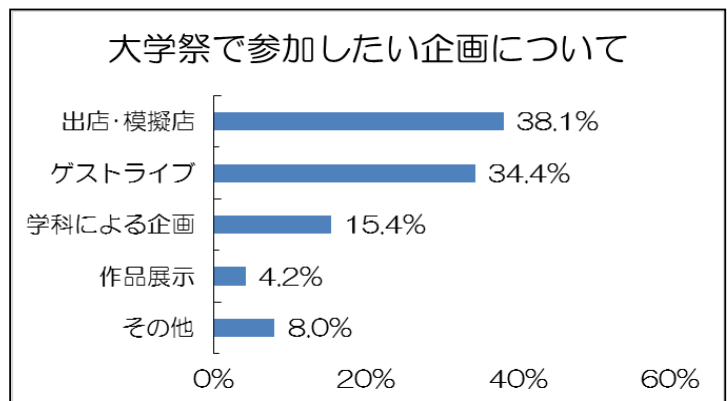
### 大学祭の参加について(設問24)

大学祭の参加については「参加してみたい」が47.9%で半数近い結果となり、「参加したくない」は28.6%であった。



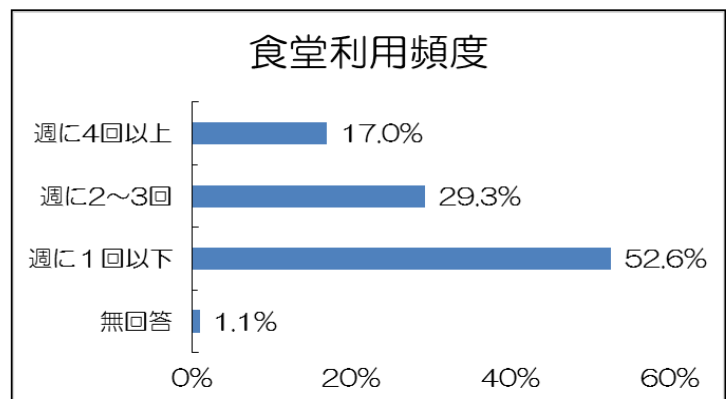
### 大学祭に参加したい企画について(設問25)

大学祭で参加したい企画では「出店・模擬店」が38.1%、「ゲストライブ」34.4%であった。



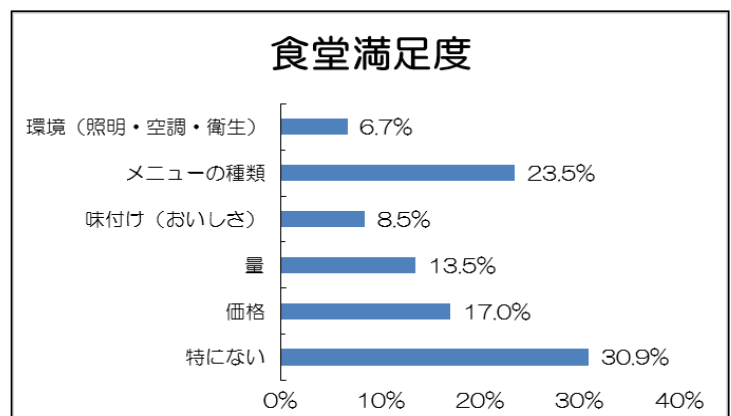
### 食堂の利用頻度について(設問26)

食堂の利用頻度については「週に1回以下」が52.6%、「週に2~3回」が29.3%で、定期的な利用は少ない状況にある。



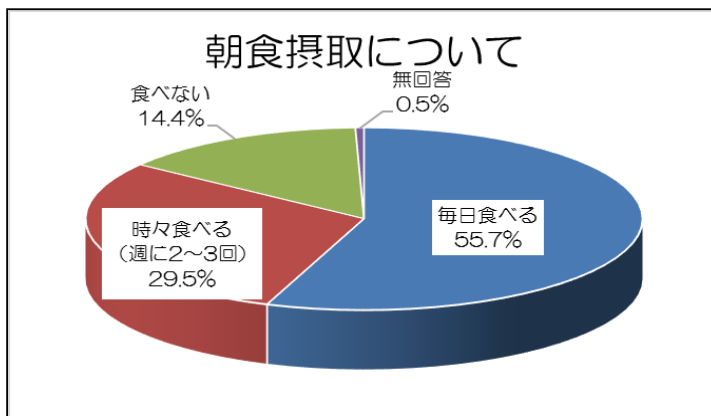
### 食堂の満足度について(設問27)

食堂については「メニューの種類」23.5%「価格」17.0%で「特にない」が30.9%であった。



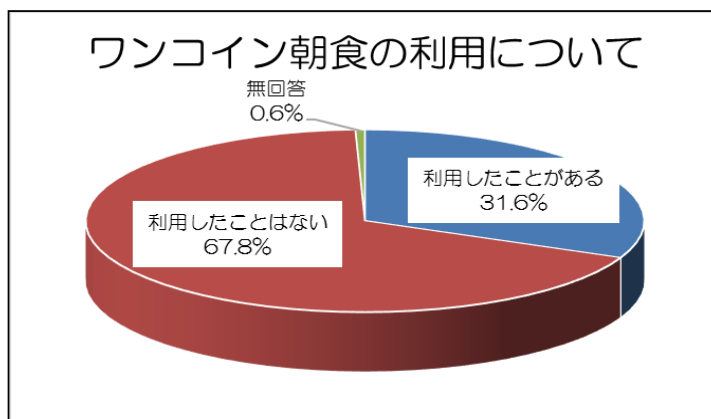
### 朝食摂取(設問28)

朝食摂取の習慣について「毎日食べる」55.7%  
「時々食べる(週に2~3回)」29.5%で、8割を超える学生が朝食を摂る習慣があることがわかった。



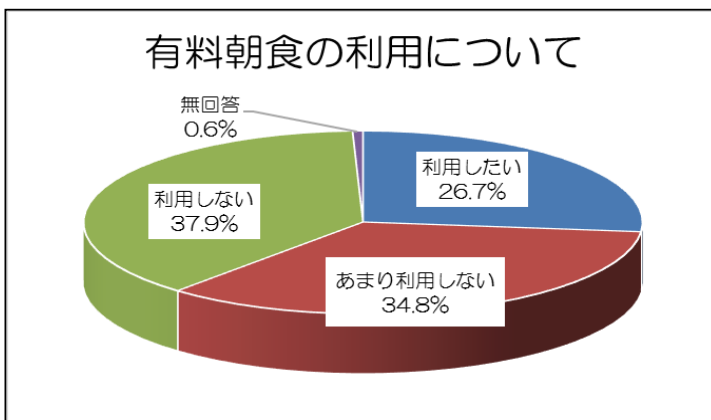
### ワンコイン朝食の利用について(設問29)

ワンコイン朝食の企画を利用したことがある学生は31.6%であった。



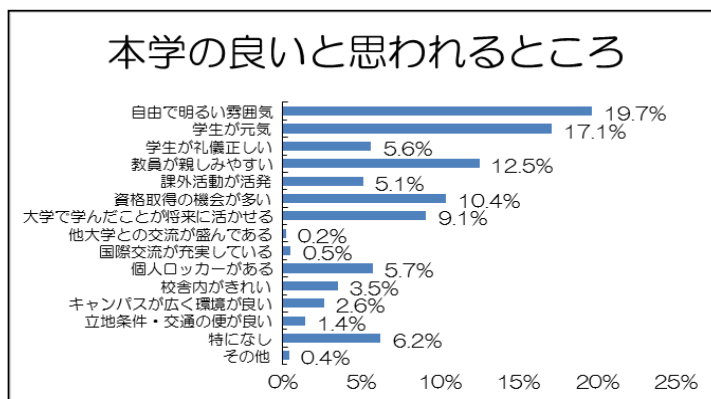
### 有料朝食の利用について(設問30)

大学で朝食を有料で提供した場合「利用しない」37.9%  
「あまり利用しない」34.8%であり需要は高くない結果となった。



### 本学の良いと思われるところ(複数回答)(設問31)

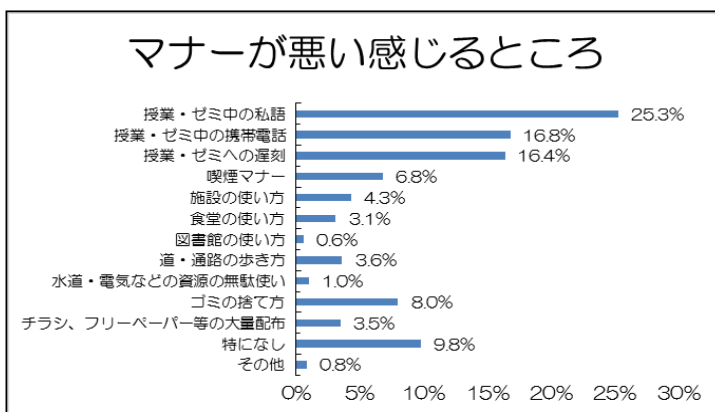
本学の良いと思われるところは「自由で明るい雰囲気」19.7%  
「学生が元気」17.1%「教員が親しみやすい」12.5%  
「資格取得の機会が多い」10.4%であった。





### 学生の学内のマナーについて(複数回答)(設問32)

学内の学生マナーについて悪いと感じる項目については「授業・ゼミ中の私語」25.3%で最も高く次いで「授業・ゼミ中の携帯電話」が16.8%「授業・ゼミへの遅刻」16.4%「授業・ゼミへの遅刻」16.4%であった。



### 本学施設・設備について(複数回答)(設問33)

学内設備・施設への改善については「食堂・購買」が21.6%「教室や演習室」が18.1%「休憩場所」が13.3%の順で要望が高かった。

